

2025年度 公開セミナーのご案内

DX推進プログラム

1	経営幹部のためのDX戦略実践力養成コース	2日間
2	DX推進のための変革リーダーシップ実践セミナー	2日間
3	DX時代のマネジメント能力開発コース	2日間
4	DX時代のリーダーシップ開発コース	2日間
5	自部門で実践するDX入門セミナー	1日
6	DXの基礎と価値創造セミナー	1日
7	DX推進の成果可視化セミナー	1日
8	RPAを活用した業務改善・業務効率化セミナー	1日
9	生成AIを活用したコスト削減・業務効率化セミナー	1日
10	デジタルリテラシー習得講座	2日間
11	問題発見力強化セミナー	1日
12	DX時代に求められる「3つの思考法」入門セミナー	1日
13	デザイン思考入門セミナー	1日
14	アート思考入門セミナー	1日
15	データサイエンス入門セミナー	1日
16	データサイエンス基礎セミナー	2日間
17	問題解決につながるデータ分析力強化セミナー	1日
18	データ分析・統計入門セミナー [初級編]	1日
19	データ分析・統計入門セミナー [中級編]	1日

1

自社のDXが失敗しないために「真のDX戦略」を学ぶ

経営幹部のためのDX戦略実践力養成コース

2日間

検索サイト

JMA 151979

で検索

対象

- ・部長をはじめとした事業経営者とその候補者
- ・取締役・執行役員・経営幹部の方
- ・DX戦略や企業戦略を担う方

定員 20名

ねらい・ポイント

日本企業のDXの推進状況は、「DXができていない」が3割に、DXを推進できている企業は年々増えています。但し、DX推進の目的は、「既存事業のコスト削減」の割合が高く、「新事業・新サービスの企画・開発」の割合は高くありません。また、DX推進する上での課題トップ5は、①人材・スキルの不足、②戦略の不足、③DXを受け入れる企業文化・風土の不足、④DX推進体制が不明確、⑤予算の不足です。（企業IT動向調査 JUSAS2024より）

つまり、デジタル化の第1歩は進めています、その先のデジタル戦略推進、変革（トランスフォーメーション）をどう進めてよいのかかわからなくなってしまっている企業が多いのが実情です。

本セミナーでは、社会・産業構造が大きく変化（イノベーション3.0の時代）に対応し、未来に向けて自社を導いていくために必要な、経営幹部として知っておくべきDXの基礎知識や、自社や業界の課題・戦略・真のDX推進方法、次世代を担う人材の育成や人材戦略について体系的に学びます。また、様々な他社事例や受講者同士のディスカッションを通じて、自社のための「真のDX戦略」を考える場を提供します。

- ・経営幹部として知っておくべきDXの基礎を知り、DX推進の土台を作る
- ・自社の課題・戦略、真のDX推進方法、次世代を担う人材の育成や人材戦略について体系的に学ぶ
- ・様々な他社事例や受講者同士のディスカッションを通じて、自社の未来を創るためのDX戦略を構築する

プログラム

1日目	2日目
<p>10:00~17:00</p> <p>1 時代の流れ (WHY)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時代の変化 ワーク1 2. ICT変革を振り返る ワーク2 <p>2 トランスフォーメーション (変革) とは (WHY)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DXとは何を意味するのか 2. 変革とは何を意味するのか 3. 組織はなぜ変わらないのか ワーク3 <p>3 自社の課題・戦略の方向性を見出す (WHY・WHAT)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DXの5段階モデルで自社の課題を洗い出す ワーク4 2. デジタル競争戦略の方向性を見出す ワーク5 ワーク6 ワーク7 	<p>10:00~17:00</p> <p>4 自社の変革推進の経路を見出す (WHY・WHAT)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルがもたらす価値 2. DX実現に向けたITシステム 3. フューチャーレディーに向かう4つの経路 ワーク8 <p>5 重要なデジタル技術 (HOW)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. AI・ロボット 2. IoT・デジタルツイン 3. ブロックチェーン 4. プロセスオートメーション ワーク9 <p>6 DX時代を勝ち抜く企業変革 (HOW)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日米調査にみるDXを推進する人材 2. DXロードマップの構築 ワーク10 ワーク11 ワーク12

(昼休み 12:00~13:00)

※テキスト(資料)費が含まれております。

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

2

DX推進のための変革リーダーシップ実践セミナー

2日間

検索サイト

JMA 151668

で検索

対象

- ・DX推進部門の方
- ・DXプロジェクトの責任者、担当の方
- ・これからDXを推進する上で、変革を推進するリーダー
- ・DX時代に適したリーダーシップ能力を獲得したい方

定員 20名

特長・ねらい

「DX時代に適したリーダーシップ能力とは何か」という問いかけが、さまざまな企業からしばしば寄せられます。**DXの主眼はあくまでもトランスフォーメーション、つまり変革です。**変革では総論賛成、各論反対が普通です。抵抗なく進められることは、ほとんどありません。一部署、部門で進む程度の変革では、変革になりません。日本企業の大半は、変革の意味を知らないのが実情です。

変革を推進するには、新しい時代のリーダーシップを獲得したリーダーとして、人を理解し、巻き込み、チームの能力を引き出し、パフォーマンスの最大化するという“変革”を推進するために、人が変化を拒むメカニズムの理解が必要です。

本セミナーでは、それらの理解、必要となる新しい知性を入手して活用する方法と、既存の思考様式では解決できないプロジェクト(難関プロジェクト)を組織や部門の壁を超えてやり遂げるための理論を学び、演習で体得していただきます。

プログラム

1日目	2日目
<p>10:00~17:00</p> <p>1 DXの本質論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル組織を構築すれば、前進するの? ・我が国におけるDXの停滞要因は? DXの本質論 (1, 2, 3) <p>2 DX推進でリーダーが理解すべき6つの論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両利きの経営、SOEとSORとは何か デジタル化推進に必要となる組織機能・体制 ・デジタル化で必要となる人材を理解する ・DXでは、変革が伴う デジタルの価値を理解する ・自社の「デジタル化の白地図」を書く <p>3 何故、人と組織は変わらないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免疫マップとは? 何故、人と組織は変わらないのか? ・個人演習 チーム演習1 チーム演習2 チーム演習3 ・世界認識の方法が変わる 人の知性に関する新事実 ・どうすれば、「大人の知性レベル」を上げることができるか? ・組織内の「免疫システム」に対抗する 	<p>10:00~17:00</p> <p>4 DX失敗から学びを得る</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム演習1 DX失敗から学びを得る <p>5 DXレベルアップの方法を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故、DXは失敗するのか? どうすればステージ5に到達できるか? ・DXの5段階モデル <p>6 DX注目事例と5段階モデルの規律を分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX注目事例1: 何故、DX変革が成功したのか事例研究、要因を分析 ・DX注目事例2: 何故、DX変革が成功したのか事例研究、要因を分析 <p>7 DX成功から学びを得る</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム演習2 DX成功から学びを得る <p>8 自己のリーダーシップスタイルを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人演習 自己のリーダーシップスタイルを振り返り、あるべきリーダー像を見出す

(昼休み 12:00~13:00)

※テキスト(資料)費が含まれております。

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

講師 (敬称略)

中谷 英雄

株式会社ピーエム・アラインメント 取締役
ビジネスコンサルティング部 部長

会期・会場

<東 京> 日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)

2025年 7月16日(水)~17日(木)

11月13日(木)~14日(金)

2026年 2月19日(木)~20日(金)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	121,000円/1名
上記会員外	144,100円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

検索サイト

JMA 151668

で検索

対象

- ・DX推進部門の方
- ・DXプロジェクトの責任者、担当の方
- ・これからDXを推進する上で、変革を推進するリーダー
- ・DX時代に適したリーダーシップ能力を獲得したい方

定員 20名

講師 (敬称略)

中谷 英雄

株式会社ピーエム・アラインメント 取締役
ビジネスコンサルティング部 部長

会期・会場

<東 京> 日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)

2025年 6月12日(木)~13日(金)

12月 8日(月)~ 9日(火)

<オンライン> (Zoom)

2025年 9月18日(木)~19日(金)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	108,900円/1名
上記会員外	121,000円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

(昼休み 12:00~13:00)

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

3

新たな価値を生み出す管理職のための

DX時代の
マネジメント能力開発コース

2日間

検索サイト

JMA 151671

で検索

対象

- 各部門の管理職（マネジャー）
- 部長・課長相当職およびその候補者
- DX時代のマネジメント能力を身に付けたい方

定員 20名

開催場所により定員数が異なる場合があります。

特長・ねらい

- 変化の激しい時代に対応していけるマネジメント能力と自己変革力を身に付けます。
- 顧客視点での価値を生みだし、成果の出せる組織づくりができる管理者を目指します。
- 年上部下、シニア社員、業務委託などの多様なメンバーをマネジメントすることも学びます。
- マネジャーとして、組織変革を起こし、トランスフォーメーションに対応できる人材を目指します。

DX（デジタルトランスフォーメーション）が急速に進む環境下において、管理職に求められる役割も大きく変わらざるを得ません。これまでの成功事例をもとに再現性の高さを“管理”するだけでは、生み出す価値は陳腐化してしまいます。新たな価値を生み出すためには、マネジメントのトランスフォーメーションが求められます。

時代に関わらず管理職のマネジメントとして、変わらない役割は「組織として成果を生み出す」ことです。一方で、これまでとは異なるDX時代に成果を生み出すためには、「組織づくり」「目標設定」「計画（達成プロセス）」「メンバー」「コミュニケーション」「動機づけ」の各視点でのマネジメントを革新し、管理者として「自己変革」「組織変革」を実践していくことが重要です。

本コースでは、DX時代においても成果を出し続けるために必要不可欠なポイントを明日から実践できるようにグループワークも交えて、身に付けていただきます。

プログラム

1日目	10:00~17:00	2日目	10:00~17:00
1 DX時代のマネジメントとは 2 価値創造型の組織づくり ~顧客視点での価値とは <small>グループワーク</small> 3 目標設定と達成プロセス ~価値を目標に落とし込む <small>グループワーク</small> 4 メンバーの強みを活かす ~自律とエンゲージメント <small>グループワーク</small>		5 コミュニケーションと動機づけ ~高速成長を促すフィードバック <small>グループワーク</small> 6 管理者としての自己変革① ~自分起点のリーダーシップ <small>グループワーク</small> 7 管理者としての自己変革② ~困難に立ち向かうレジリエンス <small>グループワーク</small> 8 管理者としての組織変革 ~組織文化を醸成する <small>グループワーク</small> 9 まとめ	

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

4

高速で成長するチームをつくる

DX時代の
リーダーシップ開発コース

2日間

検索サイト

JMA 151672

で検索

対象

- 各部門のリーダー（主任・係長）および管理職
- チームを活性化したい方
- DX時代のリーダーシップを身に付けたい方

定員 20名

特長・ねらい

- 変化の激しい時代に対応していけるリーダーシップと自己変革力を身に付けます。
- 自らビジョンを構築し、チームのベクトルを合わせ、問題発見ができるリーダーを目指します。
- 効果的な1on1ミーティングや心理的安全性など、これからの時代に必要なメンバー育成・コミュニケーションを学びます。
- リーダーとして、メンバーの強みを引き出し、高速で成長するチームを作れる人材を目指します。

DX（デジタルトランスフォーメーション）はいまや日本企業にとって避けては通れない動きになっています。企業を取り巻く環境は激化し、あらゆる企業が価値の最大化に向けて変革の加速度を増しています。

トップダウンの動きだけではこの環境変化を乗り越えることはできません。現場のチームが活性化して価値を生み出すことで、組織全体が勝ち抜くことができます。そこで、激変する環境下で高速で成長できるチームを作ることができます。そこで、激変する環境下で高速で成長できるチームを作ることができます。そこで、激変する環境下で高速で成長できるチームを作ることができます。

本コースでは、DX時代においても成果を出し続けるリーダーに必要な「目標設定力」「問題発見力」「メンバー育成力」「コミュニケーション力」「チームワーク力」「自己変革力」を身に付けていただきます。そして、リーダーシップを発揮するための実践的なポイントを、グループワークも交えて修得いただきます。

プログラム

1日目	10:00~17:00	2日目	10:00~17:00
1 DX時代に起こる変化とは 2 目標設定力: ビジョンの構想と浸透 <small>グループワーク</small> 3 問題発見力: 問題解決から問題発見へ <small>グループワーク</small> 4 メンバー育成力: フィードバックで自律を促進 <small>ショートケース</small>		5 コミュニケーション力: オープンでフラットな対話 <small>グループワーク</small> 6 チームワーク力: 高速で挑戦する文化 <small>グループワーク</small> 7 自己変革力: リーダーとして変わり続ける <small>グループワーク</small> 8 まとめ <small>ショートケース</small>	

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

講師（敬称略）

奥田 和広

株式会社タパネル 代表取締役
一般社団法人日本能率協会 専任講師

会期・会場

<東 京> 日本能率協会 研修室（東京都港区芝公園）

2025年 8月27日(水)~28日(木)
11月11日(火)~12日(水)

<大 阪> 日本能率協会 研修室（大阪市北区梅田）

2025年10月23日(木)~24日(金)

<オンライン> (Zoom)

2026年 1月22日(木)~23日(金)

参加料 [税込]

日本能率協会法人会員	108,900円/1名
上記会員外	121,000円/1名

※テキスト(資料) 費が含まれております。

(昼休み 12:00~13:00)

講師（敬称略）

奥田 和広

株式会社タパネル 代表取締役
一般社団法人日本能率協会 専任講師

会期・会場

※確定した会場のご案内は、参加証の送付時に行います。

<オンライン> (Zoom)

2025年10月 7日(火)~ 8日(水)

2026年 3月10日(火)~11日(水)

参加料 [税込]

日本能率協会法人会員	108,900円/1名
上記会員外	121,000円/1名

※テキスト(資料) 費が含まれております。

(昼休み 12:00~13:00)

5

全社員がDX推進に取り組むための

自部門で実践するDX入門セミナー

1日

検索サイト

JMA 151651

で検索

対象

- ・管理職・リーダーの方
- ・各部門のDX担当、業務改善担当の方
- ・全社のDX推進担当者

定員 20名

特長・ねらい

コロナ禍で世界の国々に比べて日本社会のデジタル化の遅れが顕著になり、日本政府もデジタル庁を発足させ、社会のデジタル化をより進めようとしています。そのような中、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進が企業の喫緊の課題にもなっています。しかし、DXという言葉だけが先行し、実際にどのように自社でDX推進すればよいのかわからないというのが実情ではないでしょうか。

本セミナーでは、既存のアナログ業務を単純にデジタル化するだけでなく、最新のデジタル技術を用いて、会社そのものを変革し、これからの時代に生き残り、成長していくための真のDXとは何か。そして、真のDXをどのように推進していけばよいのかをワークを通して学びます。

また、最新のデジタル技術やその活用例に触れることで、自社・自部門にどのように活用すればよいのかのヒントを得ることができます。

プログラム

(昼休み 12:00~13:00)

1日		9:45~16:45	
I.基礎知識編		II.DX推進編	
<p>1 コロナ禍でわかったデジタル化の必要性</p> <p>(1)新型コロナで明確になった日本の弱点 (2)現在は第4次産業革命の時代 (3)常識が非常識に、非常識が常識になる時代 (4)これからの社会がどのようになるのか 国が目指している近未来の日本 (5)「2025年の壁」と今の日本の姿 (6)2040年の未来予測 (7)現状からの延長線で未来を考えてはいけない</p> <p>2 デジタルトランスフォーメーション(DX)とは何か</p> <p>(1)劇的な変化を起こすDXが企業の生死を分ける (2)コロナ禍でDX推進も加速されている (3)デジタル化が真のDXではない真のDXとは? (4)DXを成功させる5つのステップ (5)時代に合わせて企業理念を実現するシンカサイクル (6)DXがうまくいかない7大疾病 ワーク 自社がどのようにDXに対応できるか考える</p> <p>3 既存の産業を脅かすデジタル技術と他社導入事例</p> <p>(1)業務を自動化するRPA (2)システムの内製化を促進するノーコード・ローコード (3)5Gがもたらすネットインフラの革新 (4)人工知能(AI)はどこまでできるのか (5)いま、SFの世界が現実になりつつある! 最新ロボット事例と産業界での活用 (6)工場の可視化をすすめるIoTとデジタルツイン (7)なんか怪しそうと思われている ブロックチェーンが未来の基盤技術になる!? (8)ビジネスのあり方を変える仮想現実(VR)・拡張現実(AR)の世界 (9)いままでの常識が非常識になる3Dプリンタの世界</p>	<p>1 DX推進の心得</p> <p>(1)目に見える範囲のデジタル化ではDXは失敗する (2)シンカサイクルとDXを成功させる5つのステップの対応 (3)トランスフォーメーション(変革)とは (4)DXはCX(会社を作り変えること)である (5)ITが得意な若手が推進するのではなく、トップが推進しなければDXは実現できない (6)DX推進のビジョンをトップの言葉で社員に語り (7)自社の未来を脅かす可能性を洗い出す (8)未来を予想し、今はない課題を想像する (9)課題を解決するために自社のリソースや要素技術で何が使えるか考える ワーク DX推進を行う目的やビジョンを考える</p> <p>2 第1歩はデジタイゼーション(デジタル化)から</p> <p>(1)まずはアナログデータをデジタル化することを考える (2)ほぼすべての業務がデジタル化できる! (3)業務マニュアルがこれからの時代の切り札になる (4)業務フローチャートで業務の流れを可視化する ワーク 自社において何がデジタル化できるか考える</p> <p>3 自部門でDXをすすめるためには</p> <p>(1)DXを阻害するものは何か? (2)自部門でDX推進するためのチェンジマネジメント方法 (3)DX推進人材増進計画のススメ</p> <p>4 実践ワーク ※自社の状況に合わせたDX推進テーマについて企画検討を実施する</p>		

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

6

ケーススタディで学ぶ

DXの基礎と価値創造セミナー

~DXを単なるデジタル化で終わらせないために~

1日

検索サイト

JMA 151661

で検索

対象

- ・DX推進部門、経営企画部門の方
- ・新規事業開発を担っている方
- ・DX推進による収益化を期待されている方
- ・組織を見直したいリーダー・管理職の方

定員 20名

特長・ねらい

- ・なぜDXが必要なのかの目的を理解できる
- ・自社のDXの状態を確認し、DXやデジタル経営について正しい知識を持つ
- ・DX実現に必要な組織運営やリーダーシップを学び、社内のDX推進のリーダーとしてプロジェクトを進めることができる
- ・顧客視点やデザイン思考を学び、新規事業の着想を得ることができる。

多くの日本企業でDX(デジタルトランスフォーメーション)推進が叫ばれ、半ばバズワードとなっています。一方、その範囲がバックオフィスの改善やデジタルツールへの代替と言ったデジタイゼーション(単なるデジタル化)がフォーカスされ、DX推進による事業収益の最大化や新規事業開発がなかなか進まないのが状況ではないでしょうか。

本セミナーでは、なぜDXが必要かについて、まずDXの本質をとらえていただき、DXを実現するために必要な組織運営モデルやリーダーシップを企業事例から学んでいただきます。そして、顧客視点とデザイン思考のポイントを押さえたうえで、自社の新規事業開発や収益化を実現し、新たな価値を生み出し方をワークショップなどを通じて押さえて頂きます。

プログラム

(昼休み 12:00~13:00)

1日		9:45~16:45	
<p>0 はじめに</p> <p>1 DXを取り巻く外部環境と課題</p> <p>①これからの社会と企業の在り方 ②海外と日本のデジタル化における要点 ③日本や企業におけるDXの課題とは</p> <p>2 DXを実現する組織運営モデルとリーダーシップ</p> <p>①デジタル化された経営モデルとは ②DXに必要な組織の運営モデルとは ③デジタル時代のリーダーシップモデル</p> <p>3 DXの本質とは</p> <p>①DXはなぜ行うのか? ②DXの本質とは何か ③DXに必要な経営資源とは</p>	<p>4 デザイン思考と顧客経験価値とは</p> <p>①デザイン思考とは ②CX戦略とは 演習 顧客視点を仮説する</p> <p>5 新たな価値を創造する方法とは</p> <p>①顧客起点の事業モデル化とは ②イノベーション推進における各フェーズの目標とアクション ③企業内起業家: イントレプレナーの素質とは 演習 ④オペレーション</p> <p>6 まとめ・質疑</p>		

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

講師(敬称略) 廣瀬 隆彦 CX Value Lab株式会社 代表取締役CEO

会期・会場

<オンライン> (Zoom)
2025年 9月16日(火)
2026年 3月 3日(火)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

7

成果を定量的・定性的に評価し、投資・中止の意思決定を行う

検索サイト

JMA 152507

で検索

対象

- DX推進のプロジェクト担当者、責任者の方
- DX推進の成果可視化をしたい方

定員 20名

1日

DX推進の成果可視化セミナー

特長・ねらい

- ビジネス戦略とDX戦略のリンケージの重要性を理解し、実現する具体的な手法を習得する。
- 投資をベースに、DXの成功とはどのように測定するのか、具体的な方法を習得する。
- DX活動の成果を超えて、市場・社会への変化の影響(インパクト)の測定方法を習得する。
- プロジェクトの優先順位付け、プロジェクト撤退の客観的な説明方法を学ぶ。
- プロジェクトの上に存在する上位フレームワークを理解し経営が要求する全体観を身に付ける。

- DX推進プロジェクトを進めていく中で、下記のような課題が聞かれます。
- 「DX推進者として、どのような視点で組織戦略との合致を確認したらいいのか」
 - 「プロジェクト計画時、プロジェクトのアウトプット(成果)を顧客の企業価値に結び付けるには、具体的にどうすればいいのか」
 - 「DX推進の活動(プロジェクト、サービス、ソリューション)の成功とはどのように定義、測定されるのか?」
 - 「組織戦略目標との合致を確認し、具体的にどのような方法でプロジェクトの選定/中止の意思決定を行えばいいのか」
 - 「DX推進を行う上で、何を押さえておくべきか」

本セミナーでは、上記の課題を解決するため、まず、DX推進で成果を定量的・定性的に評価する意義を理解していただきます。そして、演習を通して、測定手法や優先順位付けを身につけていただき、DXへの投資ならびにプロジェクト中止の意思決定ができることを目指します。

プログラム

(休休み 12:00~13:00)

1日

9:30~17:30

1 DX推進で成果をどう評価するか

- (1)KKD(感経度)の限界
- (2)データドリブンに基づく意思決定の重要性
- (3)社会的インパクトを追求する

2 投資要求に合った価値連鎖の説明

- (1)投資要求に対する説明に関する現状認識
- (2)企業におけるインパクト測定の狙い
- (3)インパクト創造サイクル
- (4)インパクト測定計画作成手順
- (5)インパクト測定計画 事例紹介

演習1 市場・社会へのインパクトを認識した上で、デジタルプロジェクトの価値連鎖を説明する

3 インパクト測定計画を用いて、価値創出を説明する

- (1)主要なインパクトを特定する
- (2)一次インパクトを洗い出す
- (3)二次インパクトを洗い出す
- (4)ベネフィットマップを完成させる
- (5)測定データ収集計画を作成する
- (6)経営者に、価値提案を説明する

4 選択と集中、投資価値の最適化方法を体得する

- (1)ポートフォリオの基本的な考え方
 - (2)様々な優先順位付け方法の紹介
- 演習2** プロジェクトの優先順位付けの根拠を論理的に説明する
演習3 プロジェクト撤退の理由をステークホルダーに論理的に説明する

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

8

業務を自動化し、生産性を向上させる

検索サイト

JMA 151653

で検索

対象

- 業務改善・業務効率化により生産性を高めたい方
- RPAを学び、業務に取り入れたい方

定員 20名

1日

RPAを活用した業務改善・業務効率化セミナー

特長・ねらい

働き方改革が求められる現在、従来の仕事の仕方では残業時間の削減を含めた業務の効率化には限界があります。さらに、コロナ禍による推進されたテレワークにより、人が出社しなくても業務が滞りなく遂行される仕事のあり方も求められるようになりました。これらの課題を解決する1つの手段が業務の自動化(RPA)です。しかし、RPAをいう言葉は聞かざりながら導入できないというのが現状です。

実は、マニュアル化できる業務はすべて自動化できる可能性があります。本セミナーでは、RPAとは何かからはじめ、自社の業務をどのように自動化すればよいのかまでを体系的に学びます。

プログラム

(休休み 12:00~13:00)

1日

9:45~16:45

1 今の時代に求められる業務改善・業務効率化とは

- (1)働き方改革時代に求められる業務のあり方
- (2)効率化の選択肢としての自動化(RPA)
- (3)RPAの活用事例紹介
- (4)RPAにできること、向いていること
- (5)従来のシステム化やAIとの違い
- (6)RPA導入がうまくいく会社・うまくいかない会社

2 無料で使えるRPAツール(UiPath)デモンストレーション

- (1)UiPathの特徴と画面構成
- (2)UiPathによる業務の自動化デモンストレーション

3 いきなり自動化できるわけではない、まずは業務の可視化が重要

- (1)RPA導入のステップ
- (2)自社業務の洗い出し
- (3)業務の整理整頓がRPA導入の成否を決める
- (4)代表的なRPAツール

ワーク RPAを導入してどのようなことを実施したいか考える

4 自動化(RPA)を見越した仕事の見える化

- (1)自部署の業務を洗い出す

ワーク 自部署のルーティーン業務を洗い出す

- (2)洗い出した業務を分類する
- (3)RPA導入効果で生じる余剰時間を何に使うのか?

講師(敬称略) 金子 雄太郎 オフィス・ジガー 代表

会期・会場

<オンライン> (Zoom)

2025年 7月16日(水) / 12月18日(木)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料) 費が含まれております。

5 業務フローの作成実践

- (1)業務フローを作成する意味とは
 - (2)業務の可視化によるメリット
 - (3)業務フロー作成の基本
- ワーク** 業務の流れを可視化してみましょう。【サンプル業務編】
- (4)RPA化を見越した業務フローの改善ポイント
 - (5)まずは作業レベルをRPA化する

6 無料で使えるRPAツール(Power Automate Desktop)デモンストレーション

- (1)Power Automate Desktopの特徴と画面構成
- (2)Power Automate Desktopによる業務の自動化デモンストレーション

7 RPAを活用した業務改善・業務効率化を考える

ワーク 自部署の業務をフロー図として整理し、RPAを活用した業務改善・業務効率化を考える

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

9

ChatGPTで、DXを加速させる！

生成AIを活用した コスト削減・業務効率化入門セミナー

1日

検索サイト

JMA 152458

で検索

対象 ・業務改善・業務効率化により生産性を高めたい方
 ・ChatGPTの活用方法を学び、業務に取り入れたい方
 ・生成AIを自社業務に活用し、DXを推進したい方
 ※ChatGPTなどの生成AIが使用できるパソコンやタブレットのご用意をお願いいたします。

定員 20名

特長・ねらい

DXを進めるためには業務改善・効率化を図り現業の余力を作ることが不可欠です。しかし、既存業務の見直し改善だけでは大きな余力を生むまでに時間がかかってしまいます。また、既存業務をデジタル化しただけのDXでは逆に業務負荷が増加してしまうという現象まで起きています。

そのような状況の中、2023年に生成AIが急速に普及し、2023年7月の日経新聞社による調査では7割の企業が生成AIで労働時間の削減や生産性向上を図ろうとしています。

生成AIを使用することで、単純な業務改善とは比較にならないくらいの業務効率化効果を上げることができます。しかし、自社の業務の中でどのように生成AIを使えばよいのかわからないというのが実状です。

本セミナーでは、今後の世の中の流れでデジタル技術の未来を理解した上で、はじめて生成AIに触れる人にもわかる様に、生成AIをどのように自社業務に活かしていくかを実機による演習を通して学びます。

プログラム

(昼休み 12:00~13:00)

1日

9:45~16:45

1 令和の三種の神器

- (1)過去の世界・未来の世界 (2)DXが上手くいかない本当の理由
 (3)真のDXを推進する「シンカサイクル」 **ワーク** 自社のDX推進の現状を振り返る
 (4)DXを加速させる令和の三種の神器 (5)システムづくりを民主化する「ノーコード」
 (6)ビジネスフィールドを拡張する「メタバース」
 (7)人間の力を拡張する第2の脳「生成AI」 **ワーク** 未来における自分自身の姿を考える

2 AIは敵ではなく、味方だ！

- (1)[AIによってなくなる仕事・生き残る仕事]の今 **ワーク** AIに代行してもらえる仕事は何か
 (2)70年以上研究されているAIの世界
 (3)Before AIの生き方・働き方 VS With AIの生き方・働き方
 (4)AIマスト時代に生き残る人の考え方・消える人の考え方
ワーク AIマスト時代に向けて自分はどう変化すべきなのか

3 ChatGPTを第2の脳にせよ

- (1)生成AIの代表格「ChatGPT」とはそもそも何か？ (2)ChatGPTが得意なこと・不得意なこと
 (3)ChatGPTは質問・指示が9割 (4) **実習** ChatGPTを使ってみよう
 (5) **実習** シチュエーション別プロンプト例 **ワーク** ChatGPT実践演習及び実践結果グループ共有

4 生成AI仕事術

- (1)生成AIを活用している企業事例 (2)業務で使える生成AIの組み合わせ
 (3) **実習** 生成AI仕事術① 情報収集&情報分析
 (4) **実習** 生成AI仕事術② アイデア出し&企画検討
 (5) **実習** 生成AI仕事術③ プレゼン資料作成
 (6) **実習** 生成AI仕事術④ 議事録・レポート・メール作成
 (7) **実習** 生成AI仕事術⑤ 個人専用秘書・メンター役
 (8)生成AIをさらに使いこなすには **ワーク** 自業務や個人でどのように生成AIを使うか

5 アナログ職場に生成AIを広める5ステップ

- (1)Step1.生成AIを使ったほうがよい業務を限定する
 (2)Step2.すぐに使える利用シーン別プロンプト例文を作る
 (3)Step3.熱心に使っている生成AI推進者候補を仲間にする
 (4)Step4.うまくいった例を積極的に社内共有する
 (5)Step5.ゲーミフィケーション要素で楽しく熱中させる
ワーク 生成AIを自社で広めるための具体策を考える

6 アクションプラン策定

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

10

DX時代の教養をわかりやすく学ぶ

デジタルリテラシー習得講座

2日間

検索サイト

JMA 152108

で検索

対象 ・デジタルリテラシーを身に付けたい方
 ・DX時代の教養をわかりやすく学びたい方
 ・ITパスポート試験(テクノロジー系)の試験対策をしたい方

定員 20名

ITパスポート(テクノロジー系) 出題範囲準拠

特長・ねらい

DX(デジタルトランスフォーメーション)はいまや日本企業にとって避けては通れない動きになっており、昨年、大手企業や先進的な企業を中心としてDXが推進されております。そのような中、全社員がデジタルリテラシーを持ち、DX推進の当事者となることが重要なポイントの一つであるとわかってきました。

また、2022年度より高等学校にて「情報I」が必須科目となり、2024年度より大学入学共通テストにて「情報やプログラミング」に関する試験が新設されます。このことからデジタルリテラシーがこれからの社会において必須教養であることがわかります。

本セミナーは、これからの社会で必須となるデジタルリテラシーの基礎を、身近な具体例を用い、ITやデジタル技術の話題が苦手な方にもわかりやすく学ぶことができます。また、ITパスポート試験のテクノロジー系出題範囲に準拠しているため、試験対策としても最適です。

プログラム

(昼休み 12:00~13:00)

1日目

9:45~16:45

2日目

9:45~16:45

1 これからの時代、デジタルリテラシーが必要になる訳

- (1)令和時代はデジタルに囲まれて生活している
 (2)時代の流れと生活様式・仕事環境の変化
 (3)2022年から高校の「情報I」が必須となる
 (4)デジタルと仲良くできる人がより活躍する時代へ

2 コンピュータはなぜ動くのか

- (1)コンピュータの中身ってどうなっているのか (2)結局、どのパソコンが性能良いの？
 (3)昔のゲームに255という数字が多い訳 (4)コンピュータを取り巻くハードウェア達

3 プログラムはなぜ動くのか

- (1)パソコンの動作が遅いときにマウスを動かしてはダメな理由
 (2)パソコンが起動する仕組み (3)WindowsとかAndroidとか何をしているのか
 (4)アプリとソフトウェアって何が違うの？

4 ネットワークはなぜつながるのか

- (1)ネットが遅くなる理由 (2)相手にメールが届く仕組み
 (3)LANケーブルって何？ (4)5Gって何がすごいの？

5 データはどうやって保管されているのか

- (1)ビッグデータって結局なに？ (2)データとデータベースって何が違うの？
 (3)データを管理する方法と仕組み (4)データサイエンティストとは何をする人？

6 なぜシステムは止まってしまうことがあるのか

- (1)システムが止まったとき、何が起きているのか
 (2)クラウドってなに？
 (3)会社で使うシステムの種類って実はたくさんある
 (4)使いやすいシステム VS 使いにくいシステム

7 あなたの情報は安全？自分の身を守るセキュリティの知識

- (1)知らぬ間にあなたの個人情報盗まれているかも!?
 (2)あなたを脅かすセキュリティリスク
 (3)あなたの身を守るセキュリティ対策とその技術
 (4)「少しくらいいいかも」が会社に損失を与える

8 ITパスポート受験対策

- (1)ITパスポート試験の概要 (2)ITパスポート 攻略ガイド

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

11

DX時代に求められる

問題発見力強化セミナー

1日

検索サイト

JMA 151695

で検索

対象 ・自らの思考のレベルを上げることで仕事の品質を上げたいと考える人
 ・「特に与えられた問題を解決する」から「自ら能動的に問題を発見する」へと転換したい人
 ・DX時代に求められる思考力を鍛えたい方

定員 24名

特長・ねらい

●セミナーのポイント

- ・「問題解決型」と「問題発見型」の思考回路の違いを理解する
- ・問題発見型の頭の使い方を理解する
- ・上記の例としてWhy型思考による問題発見の仕方を習得する

●このような課題を解決できます

- ・「受け身の姿勢の問題解決」から「能動的な問題発見」による能動的な提案をする
- ・顧客・取引先・上司等の「仕事の依頼主」への期待値以上の付加価値を提供する
- ・過去の経験と知識からの「お決まりの発想」から未来志向で新しい方法を模索する

プログラム

※詳細なプログラムはホームページをご覧ください。

講師 (敬称略)

細谷 功 ビジネスコンサルタント・著述家

会期・会場

<オンライン> (Zoom)

2025年 7月22日(火) / 11月25日(火)

2026年 2月20日(金)

参加料 (税込)

日本能率協会法人会員	49,500円/1名
上記会員外	55,000円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

12

DX時代に求められる

「3つの思考法」入門セミナー

1日

検索サイト

JMA 151690

で検索

対象 ・思考の幅を広げたい方
 ・アート思考、デザイン思考、システム思考を学びたい方
 ・新しい思考法を取り入れ、DXやビジネス変革、新規事業、新製品開発に活かしたい方

定員 20名

特長・ねらい

DX推進が叫ばれる昨今、AIやデジタルツールが普及していき、私たちが生きる社会はますます複雑になり、様々な課題が私たちを取り巻いています。

このような課題を把握し、解決に導くための思考法として、様々な「○○思考」「○○シンキング」があります。一方、それぞれ有益な手法ではありますが、実際にビジネスなどの現場で課題に向き合い、それを解決に導くためには、どれか一つだけではなく、総合的、統合的に考える必要があります。

本セミナーでは、複雑な社会で必要とされる、広い視野で社会システム(構造)を紐解くシステム思考、その中で自分がやるべき事として課題を見出すアート思考、そして、課題解決のやり方をデザインするデザイン思考の3つの思考法に関して学びます。そして、ワークショップを通して、その3つの思考法を統合的に活用するやりかたについて学び、顧客のためのより良い(インベータティブな)形を設計(デザイン)することを目指します。

プログラム

※詳細なプログラムはホームページをご覧ください。

講師 (敬称略)

島 青志 ブルーロジック株式会社 代表取締役
 一般社団法人自然経営研究会 代表理事
 慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科研究員 / 認定スクラムマスター

会期・会場

<オンライン> (Zoom)

2025年 7月11日(金) / 11月14日(金)

2026年 2月17日(火)

参加料 (税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

13

デザイン思考入門セミナー

1日

検索サイト

JMA 152095

で検索

対象 ・デザイン思考を学びたい方
 ・新商品開発・社会課題解決のヒントを得たい方
 ・DXやビジネス変革、新規事業に活かしたい方

定員 20名

特長・ねらい

VUCAの時代と言われる、イノベーションやDX(デジタル・トランスフォーメーション)の必要性も様々なところで言われるようになりました。しかしながら、コロナパンデミックやその対応状況を見るまでもなく、私たちは本当に時代や環境の変化に対する対応力を身に付けてきたでしょうか。(地球の大きさから考えれば)小さな隕石の落下による環境変化に対応できず、滅びた恐竜のような存在に私達は陥っていないでしょうか?

日本で「デザイン思考」という言葉がブームになって10年が過ぎました。デザイン思考はプロダクト(製品)デザインだけでなく、サービスデザインや組織デザイン、アジャイルへの活用など、ビジネスモデルの変革などにも拡がりを見せています。

本セミナーは、先が見通せない現代だからこそ、改めて原点に帰って、「**人間中心デザイン(Human Centered Design)**」、即ち顧客やユーザーひいては**社会の「想い」に共感し、インベータティブな製品やサービスをデザインする手法を「ダブルダイヤモンド」「5つのプロセス」に沿って、体感しながら学ぶワークショップ**です。

プログラム

※詳細なプログラムはホームページをご覧ください。

講師 (敬称略)

島 青志 ブルーロジック株式会社 代表取締役
 一般社団法人自然経営研究会 代表理事
 慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科研究員 / 認定スクラムマスター

会期・会場

<東 京> 日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)

2025年 9月12日(金) / 2026年 1月30日(金)

<大 阪> 日本能率協会 研修室 (大阪市北区梅田)

2025年11月 7日(金)

参加料 (税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

14

生成AI時代の

アート思考入門セミナー

1日

検索サイト

JMA 151691

で検索

対象 ・イノベーションに欠かせない感性(センスメイキング)を磨きたい方
 ・新たなアイデアの源泉を探求したい方
 ・新規事業や製品開発に革命をもたらしたい方

定員 20名

特長・ねらい

世界の巨大企業が名門アートスクールから幹部を選抜し、アートスクール卒の才能がエアービーアンドビーのような企業を興す時代、人間の持つ創造性を引き出すアートの力がビジネス界で再評価されています。一方でChatGPTやStable Diffusionなどの生成AIブームがあり、今後加速度的に進化するであろうAIの創造性が、人間を駆逐するという意見もあります。私たちはその力を懼れることなく、むしろ最大限に活用し、人間の「創造性の深化」を目指すべきだと考えます。

アーティストが独自のアートを次々に創出するよう、新しいものを生み出すための思考法とは何か。そして、その手法とはどのようなものか。本セミナーでは、「**対話型鑑賞法**」、「**想いの共創と具現化**」、さらには画像**生成AIを活用する「対話型絵画法**」を通して、アート思考の真髄を体験、新製品やサービスの形を可視化し、**共通のパーパスや想いをイメージで具現化し共有する手法を提供**します。

アーティストが魅せる一作ごとの新しいアートの背後には、どのような独自の思考法が存在するのでしょうか。このセミナーでは、「**対話型鑑賞法**」、「**想いの共創と具現化**」、そして最新のAIを活用する「**対話型絵画法**」を用いて、アート思考の奥義を探求します。新製品やサービスの形を直感的に描き出し、深い共感や情熱をイメージとして共有する新手法を体感してください。

プログラム

※詳細なプログラムはホームページをご覧ください。

講師 (敬称略)

島 青志 ブルーロジック株式会社 代表取締役
 一般社団法人自然経営研究会 代表理事
 慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科研究員 / 認定スクラムマスター

会期・会場

<東 京> 日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)

2025年10月10日(金) / 2026年 3月 5日(木)

参加料 (税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

15 JMAデータサイエンス講座 ビジネスにつなげる
1日 データサイエンス入門セミナー
 検索サイト **JMA 151679** 対象
 ・データサイエンスに興味のある方
 ・データサイエンスに取り組みたい方
 ・データサイエンスを初めて学ぶ方
 で検索

ねらい

- データサイエンスには「問い」= 知りたいことが重要であることを理解する。
- カスタマージャーニーを理解し、KPIツリーを使って定量化できることを理解する。
- 統計学、機械学習の概要を知り、使い分け方を理解する
- ケーススタディを通じて、実際にデータ活用するまでの流れを理解する。

会期・会場
<オンライン> (Zoom)
 2025年 8月27日(水) / 12月11日(木)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

16 JMAデータサイエンス講座 Excelで実践する
2日間 データサイエンス基礎セミナー
 検索サイト **JMA 151681** 対象
 ・業務でExcelで関数やピボットテーブルを使ったことがある方
 で検索

ねらい

- ビジネス課題から始める重要性を理解する
- 外部環境、競合環境、内部環境を分析から課題設定の重要性を理解する
- KPIツリーを使い、シミュレーションシートへと落とし込む方法を理解する
- 原因仮説とそれをデータで確認するための考え方を理解する
- データ分析には現状把握から予測までの段階があることを理解する
- Excelで統計解析の基礎的なスキルを使うことができる
- データ分析することが目的ではなく、ビジネス成果につなげるイメージを持つ

会期・会場
<東京> 日本能率協会 研修室(東京都港区芝公園)
 2025年10月 9日(木)~10日(金) / 2026年 2月 2日(月)~ 3日(火)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	108,900円/1名
上記会員外	121,000円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

17 問題解決につながる
1日 データ分析力強化セミナー
 検索サイト **JMA 152138** 対象
 ・データ分析を業務で行いたい方
 ・仕事でデータ活用を進めたい方
 ・数字に強くなりたい方
 ・問題解決力を強化したい方
 で検索

特長・ねらい

DX推進が叫ばれる昨今、データ活用やデータドリブン経営がますます求められています。身近なところでも、営業や企画に限らず、どんな仕事をしている人でも、上司から「数字で示して」と求められることが増えていくのではないでしょうか。その理由は、「数字は嘘をつかない指標であり、ビジネスのあらゆる問題解決に有用」だからです。

本セミナーでは、コンサルタントが使っている問題解決の手法と、そのために必要なデータ分析の考え方やアプローチ方法を学びます。また、データ分析で使えるExcel関数も修得していただき、様々なケースを使ったワークショップを通して、データ分析力を強化していただきます。

会期・会場
<オンライン> (Zoom)
 2025年 6月20日(金) / 10月10日(金) / 2026年 1月30日(金)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

18 苦手意識を克服する
1日 データ分析・統計入門セミナー [初級編]
 検索サイト **JMA 152096** 対象
 ・数学が苦手な方
 ・データ分析・統計をわかりやすく学びたい方
 ・データリテラシーを修得したい方
 で検索

特長・ねらい

DXが各企業で進む中、データを活用し課題解決を目指す「データサイエンス」が注目され、大学においても専門コースの設置や基礎知識を全学生に身に付けさせるなどの動きが出ています。一方、データ分析や統計のスキルが、ビジネスパーソンに必須スキルと言われながら、学生時代の数学が得意でなく、苦手意識を持っている人も多いのが現状です。

本セミナーでは、「超入門」として、数学が苦手な人でもデータ分析や統計の基礎を身に付けられるようにわかりやすく解説します。そして、DX時代に不可欠なデータリテラシーをワークとケーススタディを通して修得し、実務に活かしていただきます。

会期・会場
<オンライン> (Zoom)
 2025年 7月23日(水) / 11月 6日(木) / 2026年 2月27日(金)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

19 データ分析・統計入門セミナー [中級編]
1日 [中級編]
 検索サイト **JMA 152508** 対象
 ・データ分析の標準ステップを理解したい方
 ・データリテラシーを高めたい方
 ・データ分析・統計入門セミナー [初級編] を受講して、さらに学びたい方
 で検索

特長・ねらい

DXが各企業で進む中、データを活用し課題解決を目指す「データサイエンス」が注目され、大学においても専門コースの設置や基礎知識を全学生に身に付けさせるなどの動きが出ています。DX時代に不可欠なデータリテラシーとして、データ分析や統計のスキルもビジネスパーソンに必須スキルとなってきています。

本セミナーでは、データ分析・統計の基本を理解した人が、実際にデータ分析を行うにあたって、データ分析の標準ステップを理解するとともに、データモデリングの前段階であるデータの理解や準備の仕方を身につけることを目的としています。また、予測的データ分析としてExcelを用いた回帰分析の仕方を学んでいただきます。

会期・会場
<オンライン> (Zoom)
 2025年12月12日(金) / 2026年 3月13日(金)

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

お申し込みについて 定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで
JMA セミナーID(6ケタ) で検索

■ オンライン受講の方法

- Zoomを使用して配信します。初めてZoomを利用される場合は事前にサイトにアクセスいただきご準備ください。インストールは無料です。
- お申し込みの方には、受講用URLと参加要領を後日ご連絡させていただきます。
- テキストは事前に郵送します。
- すべての参加者がカメラとマイクを使いながら参加いただきます。
- 1申込につき1名様ご受講ください。(著作権の観点から1申込で複数の方のご受講はお受けいたしません)

■ ご注意

- 参加申込規定はお申込ページにご覧いただけますので、ご確認・同意の上、お申込ください。
- 同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
- 参加者数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止させていただく場合がございます。

■ 会員制度のご案内

小会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。詳しくはセミナー事務局までお問い合わせください。

■ 申込に関する問い合わせ先 参加証・請求書、キャンセル・変更等
 JMAマネジメントスクール TEL: 03(3434)6271
 電話受付時間 月~金曜日9:00~17:00 (ただし祝日を除く)
 メール: seminar@jma.or.jp FAX: 03(3434)5505

■ 企画に関する問い合わせ先 プログラム内容、講師派遣、会員入会等
 本研修は、各社に講師を派遣して社内研修として開催できます。研修プログラムは、各社の希望に合わせてカスタマイズしますので、社内研修をご検討の方はお気軽にお問い合わせください。
 一般社団法人日本能率協会 DX推進セミナー事務局
 TEL: 06(4797)2050(関西事務所) / メール: dx@jma.or.jp

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>
 ※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申し込みが難しい方はJMA マネジメントスクールまでお電話(03-3434-6271)にてお問い合わせください。

■ キャンセル規定

- 参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記によりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。

【キャンセル料】

- 開催15日前(開催初日を含まず計算)~開催8日前 …………… 参加料の10%
- 開催7日前(開催初日を含まず計算)~前々日 …………… 参加料の30%
- 開催前日および当日キャンセルおよび欠席 …………… 参加料全額

(注) キャンセルの場合は必ずメールあるいはファックスでご連絡ください。

■ 参加日程の変更

参加日程変更については、変更後の日程で確実に参加することを条件に1回のみ可能といたします。
 変更は、同一セミナーで、かつ同一年度内(4月~翌年3月)に限りります。
 万一キャンセルの場合、お申出の日付により下記の費用が発生しますので、ご了承いただいたうえで、電話で確認後、所定の手続きをお取りください。
 (注) 変更・キャンセルの場合は必ずメールあるいはFAXでご連絡ください。

1回目の日程変更

キャンセルご連絡日	払い/オンラインコース
開催15日前~開催8日前 (開催初日は含まず)	なし
開催7日前~前々日 (開催初日は含まず)	5,500円【税込】
開催前日および当日	7,700円【税込】

●1回目の日程変更をした後のキャンセル
 キャンセル費用が発生する場合がございますので、お問い合わせください。

■ 人材開発支援助成金制度のご案内

厚生労働省の助成金制度をご利用いただくことができます。
 申請等については事業所所在地を管轄する「都道府県労働局」でご確認ください。